

(様式1)

学校名	北塩原村立さくら小学校	校長	芦沢 康
住所	福島県耶麻郡北塩原村大字北山字北畑4275		
TEL	0241-22-1852	URL	<a href="https://kitashiobara.fcs.ed.jp/">https://kitashiobara.fcs.ed.jp/</a> さくら小学校

# さくらから元気な風を送ろう

本校の一番の自慢は、子ども達の「素直さ」です。教師や友だちの助言を素直に聞き入れ、できるようになろうとがんばる気持ちは、学力や体力において成果としても表れています。この素直さは、学校での取組のみならず、地域の力、家庭の力があってこそのも。学校・家庭・地域が手を携え、一体となって素直な子ども達の成長を支えています。子どもの元気な姿が、多くの方々の活力になることを願って活動しています。

## 1 地域の方との交流～地域との連携及び地域人材の活用～

北塩原村では、平成23年度から「**学校の応援団**」が組織され、地域の力を生かした教育活動が行われています。本校では、**図書ボランティア**による読み聞かせや**学校図書館の環境整備**、**自然環境学習**や**教科学習の講師**、**夏季休業中の学習指導支援**、**畑の整備**など多方面でご活躍いただいています。専門性を生かした関わりをしていただくことで、子ども達が地域の方々のすばらしさを感じる機会にもなっています。そして、地域の方々には、子どもとの関わりに喜びを感じていただいています。コロナが落ち着いた後は、地域の方が常に学校にいらっしゃるような「**地域コミュニティの核**」になればと考えています。



## 2 12年間の育ちを見据えた教育活動～幼小中連携の推進～

一幼稚園一小学校一中学校という、幼小中が連携していく上での強みを生かし、**3校園で「めざす子どもの姿」を設定**し、その実現に向け日々取り組むとともに、子ども同士の交流と教職員間の情報交換・協議を活発に行っています。今年度は、幼小の連携から「**スタートカリキュラム**」「**アプローチカリキュラム**」が作成され、小中の連携として**中学校の校長先生を指導助言者に招いての校内研修**を行いました。幼中間での**保育・授業参観**も行われるなど、12年間の育ちを見据えての教育活動を行うことで、「**小1プロブレム**」「**中1ギャップ**」の克服はもちろんのこと、伸びやかな子どもの育成に生かされています。



## 3 生き生きと表現できる子どもの育成～校内研修の活性化～

子どものよりよい育ちをめざし、学校で力を入れていることの一つに現職教育があります。「**筋道を立てて考え、表現できる子どもを育てる指導**」をテーマに、教員一人一授業を行い、日々の授業改善につなげています。**研究授業ごとに指導主事の先生などを指導助言者としてお招きし、ワークショップ型で忌憚のない研究協議**を行っています。成果と課題が次の授業に生かされる理想的な形が実現されており、自分の考えを言える子どもがとて多く育っています。



## 4 頻繁なお便り発行、ブログ更新～積極的な情報発信～

管理職による学校ブログの更新、担任による学年・学級便り、そして養護教諭・栄養士・図書館担当等によるお便りの発行により、**子ども達の学校での様子等をこまめに保護者の方にお伝え**しています。子ども達のよさやがんばりを積極的に発信することで、保護者の方が安心して学校にお預けできるようにしています。



ご感想

- 1…逆に、子どもから元気をもらっています。素直ないい子ばかりです。(学校の応援団スタッフ)
- 2…園児が、小学校入学を楽しみにしています。安心して、お任せできます。(幼稚園教諭)
- 3…研究のレベルの高さを感じます。成果が子どもの姿に表れています。(中学校教員)
- 4…こまめに知らせてもらえるので家庭での話題にもなり、とてもありがたいです。(保護者)